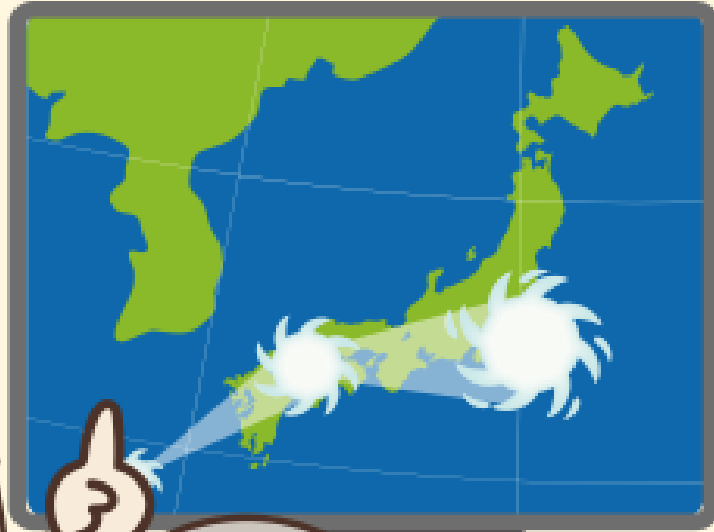
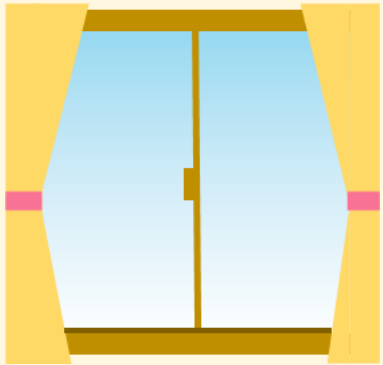


ひなんものがたり





2



「台風が近くに來たり、大雨になったりするときは、
ふだんとちがうことが起こることがあるのよ。」

「どんなことが起こるの?」

「お買い物に行けなくなるかもしれないのよ。
それと、水が出なくなることもあるの。」

そこで、

必要になりそうなものを準備することにしました。

コラム | 「避難に必要な非常持出品や備蓄品を準備しよう!」

*非常持出品や備蓄品の一覧は、次のQRコードで確認できます。

広島県「みんなで減災」はじめの一歩ポータルサイト(防災グッズ一覧) ▶







3

しばらくすると、雨が降り始め、風も強くなってきました。



「山と川が近いけど、おうちにも大丈夫かしら。」
お母さんは心配そうです。



「そうだね。山から土や木などが流れる土石流というものや、川の水があふれる洪水というものが起こるかもしれないな。」
お父さんも心配そうです。

ところが、おじいちゃんは、



「山と川は、そんなには近くないから、大丈夫じゃろ。」
と、言っています。

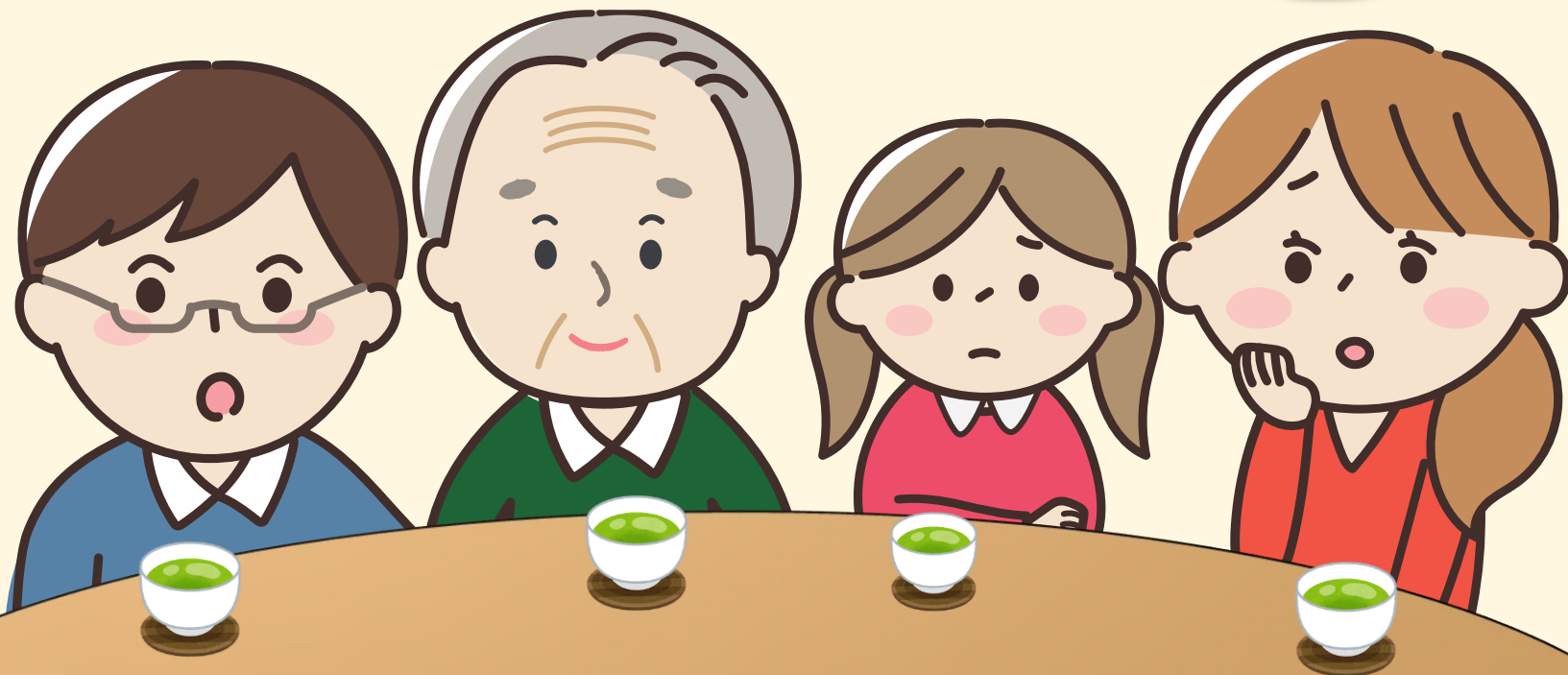
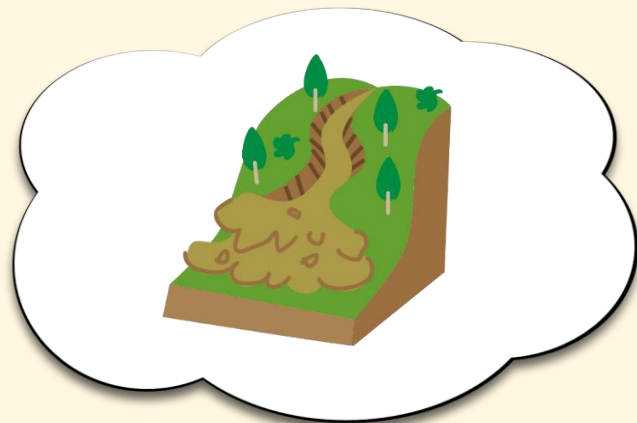
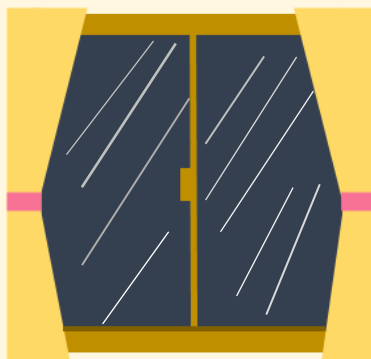


「え〜？ 本当に大丈夫なの？ なにか調べる方法はないの？」
と、まこちゃんが尋ねました。



「あ！ いいものがあるよ！」

お父さんは、何を見せてくれるのかな？





「ふだんから避難する場所を決めて、歩いておけばよかったわね。」



「遠いけど、色が塗られていない道がいいだろうなあ。どのくらい時間がかかるかなあ。」



「えーっと、避難所までは、どの道を通ったらいいかしら?」



「そうだね。ハザードマップに載っている、避難所に行こう!」



「まあ!うちにいると危ないっていうことね!雨が降り続いたら、安全な場所に避難した方がいいわね。」



「黄色で塗られているところは、大雨のときに、土石流で危なくなる場所なんだ。そして、赤く色が塗られているところは、洪水で危なくなる場所なんだよ。」



見せてくれたのは、ハザードマップという地図でした。



コラム2 「ハザードマップを見ておこう!」

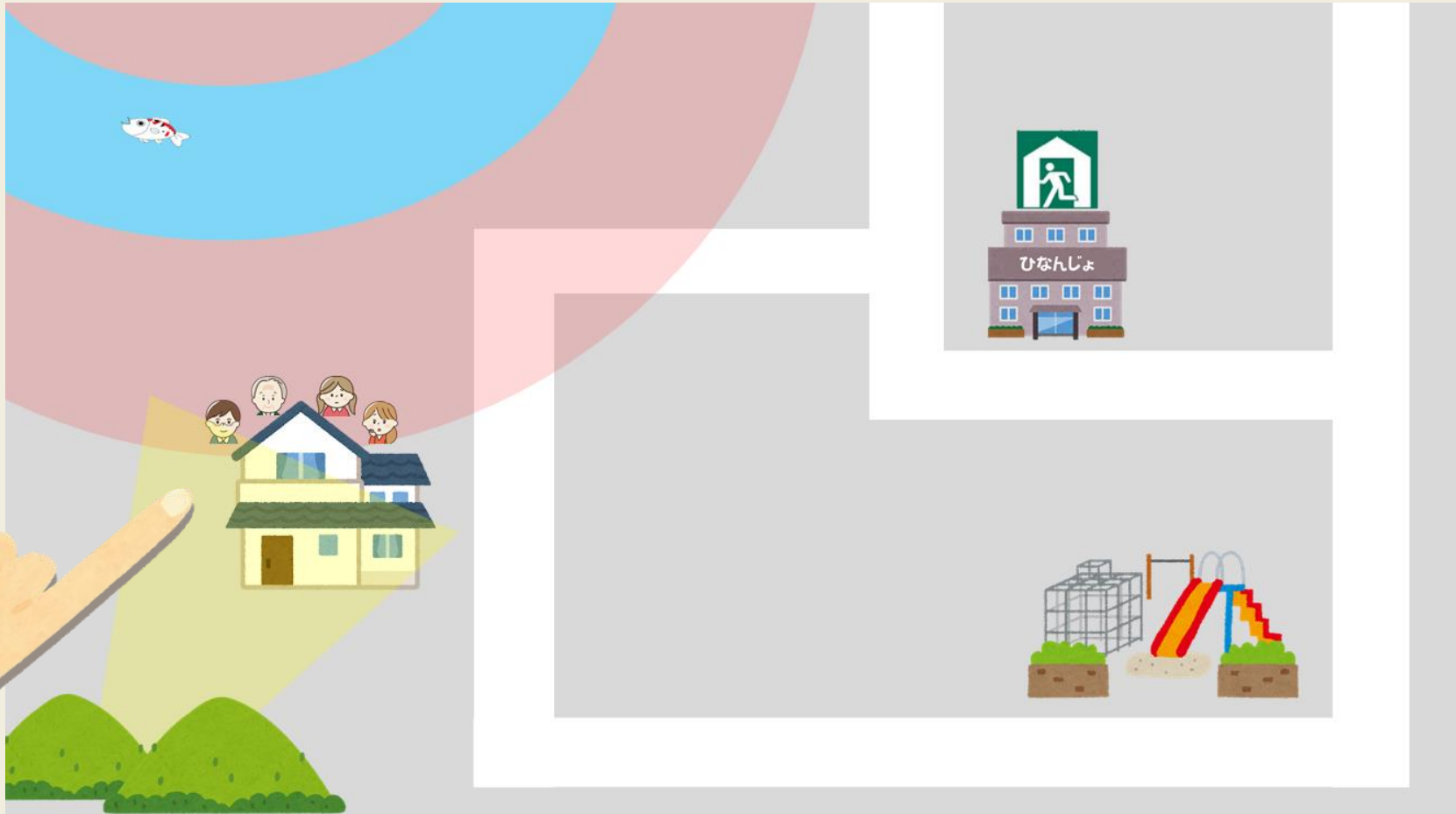
- ① 自宅やその周辺の、土砂災害、洪水、高潮の危険性を確認しましょう。
- ② 安全な避難先を、2つ以上決めましょう。
 - ・市町が指定する避難所は、ハザードマップで確認できます。
 - ・親戚や知人の家、ホテルなども避難先の候補として検討しましょう。
 - ・自宅が安全な場合は、「自宅」を避難先にすることが可能です。
(避難先は、災害種別ごとに確認が必要です。)
- ③ 安全な避難経路を歩いておきましょう。

*ハザードマップは、次のQRコードで確認できます。

ハザードマップポータルサイトHP ▶



ハザードマップ





5

さて、みんなで晩御飯を食べていると、ピカピカ、ゴロゴロ、雷です！
テレビのアナウンサーが、

「危ない場所にいる人は避難しましょう！」
と、言っています。

それを聞いて、慌てて、まこちゃんは言いました。

「みんなで避難所に行こうよ！」

ところが、おじいちゃんは、

「え？なんで？大丈夫じゃよ。

ここでは土石流や洪水は起こったことがないんじやから、
大丈夫じゃよ。」

おうちにいようと言うのです。

そんなやりとりをしていると…

コラム3 「災害時の情報収集方法を確認しておこう！」

テレビやラジオ、スマートフォンなど、複数の手段で確認しておきましょう。

*災害時に役立つ情報は、次のQRコードで確認できます。

「災害時、見てほしい情報」

～適切な避難行動のための防災情報ポータルサイト | 広島県HP ▶



ひなんしましょう





6

あら？ まっくら！

停電になってしまったみたいですね！

まわりがみえないと、危ないよね！

どうしましょう！

…とそのとき！





「おーい、ひろしきーん！」
だれかやってきました。

「おや？
おじいちゃんは、それでもまだ行かなくていいと思ってるみたい。
すると、そこに、」



「うーむ」



「そうね！さあ！
もっと危ないことが起こる前に、避難所に行きましょう！」



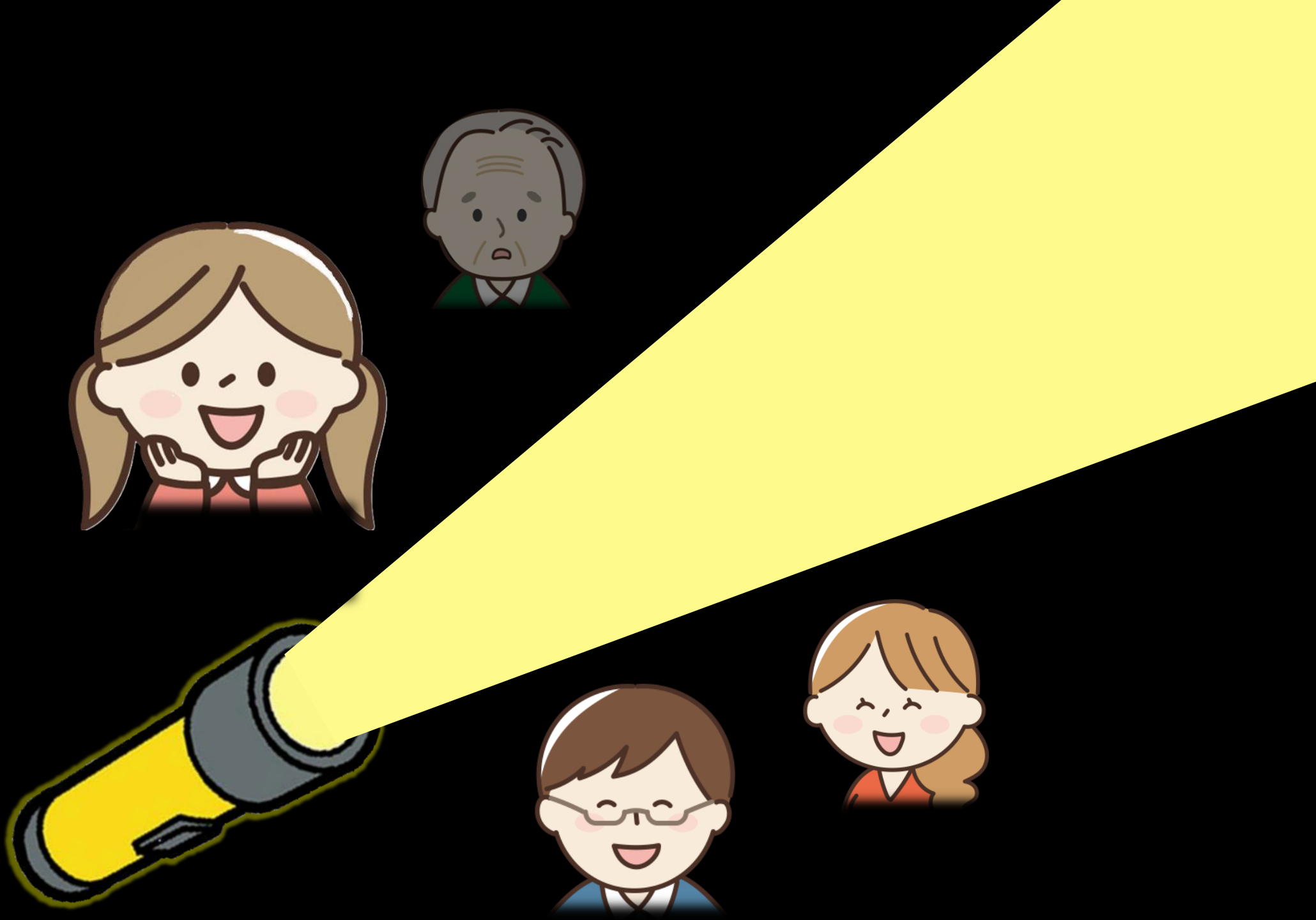
「懐中電灯を、準備しておいてよかった！」



「おお！まこちゃんありがとう！」

どこからか、明るい光が部屋を照らしました。







8

現れたのは、近所に住んでいる、よしおさんです。



「まだ避難してないんか！
はよせんと助からんぞ！」



外を見ると、おうちの近くの川があふれそうになっていました。
「このままうちにいると危ないな。
わしも避難所に行くぞ。
よしおさん、声をかけてくれてありがとう！」





▶ 広島県防災Webポータルサイト

コラム4 「避難のタイミングを決めておこう！」
避難に時間のかかる人は早めに避難を開始しましょう。

*避難情報の発令状況は、次のQRコードから確認できます。

【避難情報の例】

警戒レベル3
高齢者等避難

危険な場所にいる人、避難に時間を要する人
(高齢者の方、車いすが必要な方、乳幼児等)
は避難

警戒レベル4
避難指示

危険な場所にいる人は全員避難



「あ、避難所が見えたぞ！」

ハザードマップで、道順を調べていたので、
なんとか避難所にたどり着くことができました。

ちようどそのころ、まこちゃんたちのおうちは、
土石流に巻き込まれていました。
かなしいけど、
避難して、命は助かって、よかったね。



「みんなに怖い思いをさせてすまん…
もっと早く避難所に向かえばよかった。」
果たして、まこちゃん家族の運命やいかに！

そうして、まこちゃんたちは、避難を始めました。
おじいちゃんは、膝が痛くて、歩くのに時間がかかります。
すると、空がどんどん暗くなり、雨と風がいよいよ激しく
なってきました。
道には、ところどころに、深く水がたまっています。



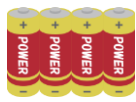
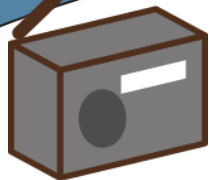
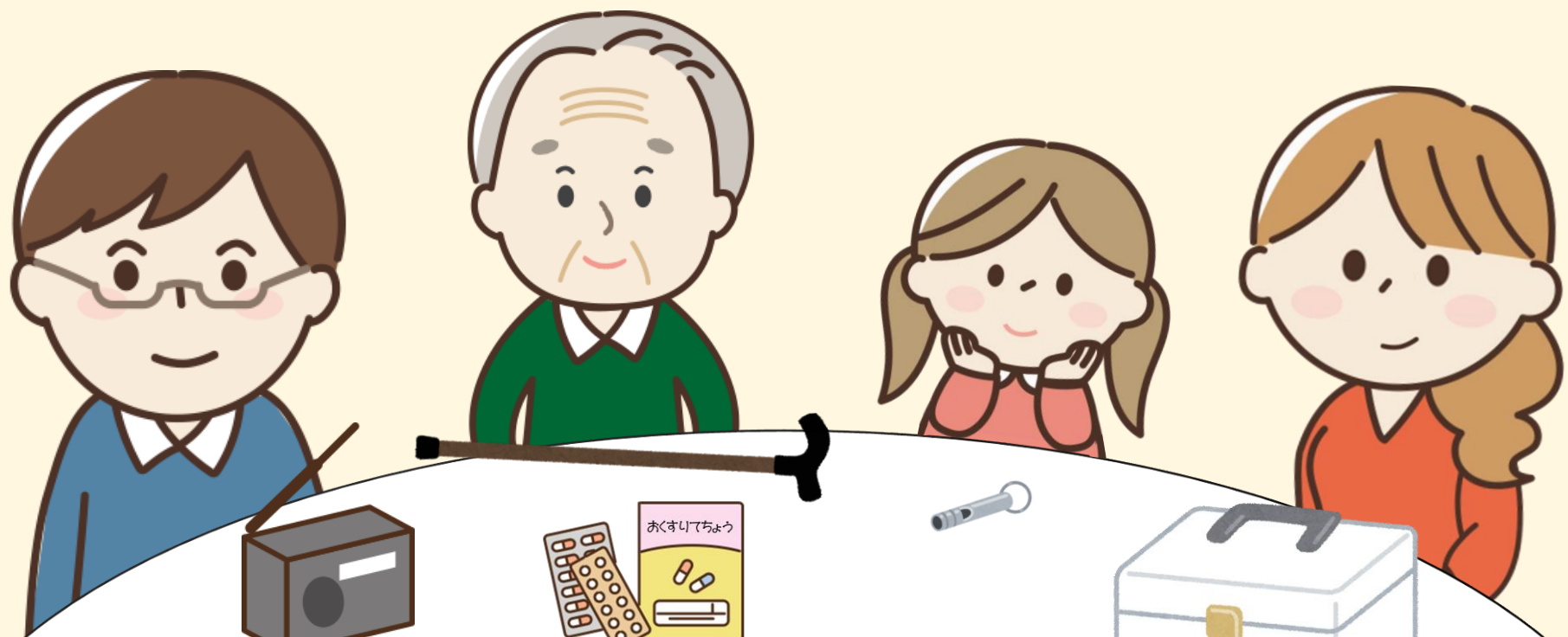
9

表面の様子



←※ 8画面を読み終えたら、このラインまで右側に引き、
読み始めます。(まこちゃん家族の運命やいかに!)まで
読み終えたら、全部引きぬいて、残りを読みましょう。
(9場面は物語が半分ずつ展開します)







『ひなんものがたり』

(ロングバージョン)

作：広島県危機管理監 みんなで減災推進課

(2026年3月31日 初版)

小学生のまこちゃんは、お父さん、お母さん、そしてひろしおじいちゃんと、一緒にくらししています。おうちの近くには、山と川があります。

ある日のこと、テレビの天気予報を見ていると…おや？これは何かな？

「台風が発生したみたいだね！」お父さんが言いました。

「近くに来るみたいね。大雨になるって言ってるわ！風も強くなるんだって！どうしましょう！」お母さんは心配そうです。

